



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 加賀電子株式会社  
コード番号 8154 URL <http://www.taxan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 外茂久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 川村 英治

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-4455-3111  
平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	122,077	17.6	2,194	—	2,437	—	1,352	—
25年3月期第2四半期	103,845	△10.7	△470	—	△355	—	△1,373	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,100百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △2,053百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	47.88	—
25年3月期第2四半期	△49.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	116,658	50,364	43.1
25年3月期	111,888	48,806	43.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 50,327百万円 25年3月期 48,656百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	247,000	14.1	3,600	185.7	4,300	122.6	2,200	394.6	77.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	28,702,118 株	25年3月期	28,702,118 株
26年3月期2Q	444,319 株	25年3月期	443,831 株
26年3月期2Q	28,258,039 株	25年3月期2Q	27,596,838 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済の成長鈍化や欧州経済の低迷など世界経済の動向に不透明感が残るものの、政府の経済対策や日銀による金融緩和策を背景として、円安株高が進行し、企業収益の改善や個人消費回復の動きがみられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末市場や車載市場などは好調に推移いたしました。また、デジタル家電市場やパソコンおよび周辺機器を中心とした情報機器市場は、需要の低迷が続く厳しい状況が続いております。

かかる環境の中で、当社グループは、グループ全体の連携を強化し、既存大手顧客への拡販や新商材の開拓などに注力する一方、不採算部門における事業の見直しや経費削減に努めてまいりました。

その結果、第2四半期連結累計期間における売上高は122,077百万円（前年同四半期比17.6%増）、営業利益は2,194百万円（前年同四半期は営業損失470百万円）、経常利益は2,437百万円（前年同四半期は経常損失355百万円）となり、また、四半期純利益は1,352百万円（前年同四半期は四半期純損失1,373百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ① 電子部品事業（半導体、一般電子部品、EMSなどの開発・製造・販売など）

電子部品事業は、国内におけるアミューズメント機器向けEMS<sup>(注)</sup>および電子部品などの需要が増加し、また海外におけるEMSも好調に推移した結果、売上高は94,595百万円（前年同四半期比21.6%増）となり、セグメント利益は1,601百万円（前年同四半期比365.7%増）となりました。

(注) Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

#### ② 情報機器事業（パソコン、PC周辺機器、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など）

情報機器事業は、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末の普及にともないコンシューマ向けパソコンなどの需要が減少いたしました。また、既存商品の拡販や新商材の発掘に努め、住宅向け関連商材や教育機関向けのパソコン・ソフトウェアおよび環境関連商品などの販売が好調に推移した結果、売上高は19,767百万円（前年同四半期比2.6%増）となり、セグメント利益は184百万円（前年同四半期はセグメント損失337百万円）となりました。

#### ③ ソフトウェア事業（CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など）

ソフトウェア事業は、アニメーションのCG制作やアミューズメント機器用画像処理ビジネスならびにゲームソフトの開発・販売に注力いたしました。その結果、売上高は1,548百万円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント利益は231百万円（前年同四半期はセグメント損失403百万円）となりました。

#### ④ その他事業（エレクトロニクス機器の修理・サポートやスポーツ用品の販売など）

その他事業は、国内のアミューズメント施設向けゲーム機器の取扱高が増加し、またゴルフ用品販売事業なども好調に推移いたしました。その結果、売上高は6,165百万円（前年同四半期比16.3%増）となり、セグメント利益は175百万円（前年同四半期はセグメント損失27百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は116,658百万円（前連結会計年度末比4,769百万円の増加）となりました。これは主に現金及び預金と棚卸資産の増加などによるものであります。

負債につきましては、66,293百万円（前連結会計年度末比3,211百万円の増加）となりました。これは主に仕入債務の増加などによるものであります。

純資産につきましては、50,364百万円（前連結会計年度末比1,557百万円の増加）となりました。これは主に四半期純利益の計上によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、14,096百万円（前連結会計年度末比2,217百万円の増加）となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,772百万円の収入（前年同期は3,293百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,033百万円の支出（前年同期は3,695百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出などであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、708百万円の支出（前年同期は258百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済などによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年10月22日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,258	14,538
受取手形及び売掛金	54,580	54,479
有価証券	111	110
商品及び製品	14,075	15,400
仕掛品	637	1,068
原材料及び貯蔵品	4,065	3,914
繰延税金資産	482	677
その他	3,823	4,324
貸倒引当金	△90	△102
流動資産合計	89,945	94,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,126	3,098
機械装置及び運搬具（純額）	1,714	1,622
工具、器具及び備品（純額）	805	733
土地	4,305	4,328
建設仮勘定	606	1,096
有形固定資産合計	10,559	10,880
無形固定資産		
のれん	799	784
ソフトウェア	435	394
その他	991	820
無形固定資産合計	2,226	1,999
投資その他の資産		
投資有価証券	4,491	4,796
繰延税金資産	472	414
その他	5,239	5,168
貸倒引当金	△1,046	△1,011
投資その他の資産合計	9,157	9,367
固定資産合計	21,943	22,247
資産合計	111,888	116,658

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,423	39,223
短期借入金	9,567	10,141
未払法人税等	1,055	941
その他	5,309	6,785
流動負債合計	53,355	57,091
固定負債		
長期借入金	5,121	4,395
退職給付引当金	1,643	1,458
役員退職慰労引当金	1,398	1,393
その他	1,562	1,955
固定負債合計	9,726	9,202
負債合計	63,082	66,293
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,912	13,912
利益剰余金	24,384	25,313
自己株式	△535	△535
株主資本合計	49,895	50,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△180	38
繰延ヘッジ損益	△6	0
為替換算調整勘定	△1,052	△535
その他の包括利益累計額合計	△1,238	△496
少数株主持分	149	37
純資産合計	48,806	50,364
負債純資産合計	111,888	116,658

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	103,845	122,077
売上原価	91,515	106,348
売上総利益	12,329	15,728
販売費及び一般管理費	12,800	13,534
営業利益又は営業損失(△)	△470	2,194
営業外収益		
受取利息	20	26
受取配当金	42	56
受取手数料	117	103
為替差益	—	15
その他	252	193
営業外収益合計	432	396
営業外費用		
支払利息	66	64
為替差損	188	—
投資事業組合運用損	25	54
その他	38	34
営業外費用合計	318	153
経常利益又は経常損失(△)	△355	2,437
特別利益		
固定資産売却益	4	1
投資有価証券売却益	—	5
関係会社株式売却益	6	—
特別利益合計	10	6
特別損失		
固定資産除却損	2	15
投資有価証券評価損	184	34
減損損失	122	—
ゴルフ会員権評価損	25	—
事務所移転費用	—	26
その他	0	12
特別損失合計	334	90
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△680	2,354
法人税、住民税及び事業税	530	757
法人税等調整額	238	236
法人税等合計	769	994
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,449	1,360
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△75	7
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,373	1,352
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△75	7



(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,449	1,360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△134	219
繰延ヘッジ損益	26	6
為替換算調整勘定	△495	514
その他の包括利益合計	△603	740
四半期包括利益	△2,053	2,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,984	2,094
少数株主に係る四半期包括利益	△68	5

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△680	2,354
減価償却費	1,260	1,006
減損損失	122	—
のれん償却額	2	57
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△384	△26
受取利息及び受取配当金	△62	△83
支払利息	66	64
投資有価証券評価損益(△は益)	184	34
売上債権の増減額(△は増加)	11,444	806
たな卸資産の増減額(△は増加)	△570	△1,284
未収入金の増減額(△は増加)	829	46
前渡金の増減額(△は増加)	618	△791
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,312	1,209
未払費用の増減額(△は減少)	△280	27
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△465	1,323
その他	143	△87
小計	3,914	4,658
利息及び配当金の受取額	63	82
利息の支払額	△66	△65
法人税等の支払額	△1,312	△905
その他	693	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,293	3,772
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,415	△940
無形固定資産の取得による支出	△205	△50
投資有価証券の取得による支出	△525	△351
投資有価証券の売却による収入	30	497
子会社株式の取得による支出	△43	△184
合併による支出	△350	—
短期貸付けによる支出	△1,208	△2
差入保証金の差入による支出	△26	△51
差入保証金の回収による収入	21	68
その他の支出	△105	△177
その他の収入	133	158
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,695	△1,033
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,152	1,204
長期借入金の返済による支出	△906	△1,425
配当金の支払額	△413	△423
その他	△90	△64
財務活動によるキャッシュ・フロー	△258	△708
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129	186
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△789	2,217
現金及び現金同等物の期首残高	9,695	11,878
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,905	14,096

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	77,783	19,270	1,491	5,299	103,845	—	103,845
セグメント間の内部 売上高又は振替高	671	349	766	1,164	2,952	△2,952	—
計	78,455	19,619	2,258	6,464	106,798	△2,952	103,845
セグメント利益又は 損失(△)	343	△337	△403	△27	△424	△46	△470

(注) 1. セグメント利益の調整額△46百万円には、セグメント間取引消去△12百万円、のれんの償却額△33百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「情報機器事業」セグメントにおいて、収益低下に伴い営業資産の減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において122百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「電子部品事業」セグメントにおいて、株式会社エー・ディーデバイスとエーエスデバイス株式会社が合併したことに伴いのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において718百万円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	94,595	19,767	1,548	6,165	122,077	—	122,077
セグメント間の内部 売上高又は振替高	793	310	2,600	1,038	4,742	△4,742	—
計	95,388	20,077	4,149	7,204	126,819	△4,742	122,077
セグメント利益	1,601	184	231	175	2,193	0	2,194

(注) 1.セグメント利益の調整額0百万円には、セグメント間取引消去17百万円、のれんの償却額△16百万円が含まれております。

2.セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。